



すすかけの庭

HP <https://harigaya-e.saitama-city.ed.jp> 令和6年1月9日 (No.732)

ショータイム

教育目標

進んで学ぶ子

仲良く協力する子

明るく元気な子



1月の行事予定

9	火	第3学期始業式 短縮3時間授業 下校11:30
10	水	短縮4時間授業 下校12:10 安全点検日 読書会①③④⑤あ
11	木	給食開始日 5時間授業 SSW来校 読書会②⑤⑥ 市学習状況調査③④
12	金	市学習状況調査⑤⑥ 生活習慣チェックカード配付
13	土	
14	日	
15	月	生活習慣チェック(~19日) 代表委員会 下校指導
16	火	
17	水	集金日 発育測定①② 委員会⑤⑥ スマイル相談日 SC・SSW・さわ相来校
18	木	縦割り日課 たてわり 発育測定④⑤
19	金	音楽朝会 発育測定③⑥
20	土	
21	日	
22	月	給食集会 給食週間(~26日) 発育測定あ SSW来校
23	火	さいたま市子ども読書の日
24	水	クラブ④⑤⑥ 市読解力チャレンジ⑤
25	木	
26	金	避難訓練
27	土	土曜授業日 短縮4時間授業 スマホ・タブレット安全教室⑤ 第3回学校運営協議会
28	日	
29	月	読み聞かせ①② SSW来校
30	火	新入学児童保護者説明会
31	水	委員会⑤⑥ SC来校

おしらせ

○今月の土曜授業参観日

1月27日(土) 短縮4時間授業
3・4時間目が公開となります。
・3時間目10:20~11:05
・4時間目11:10~12:00
同日9:30より、第3回学校運営協議会を開催します。

○「学校評価」の検討進む

全児童及び保護者のアンケート、職員の自己評価を合わせた集計が完了しました。検討事項と方策については、1月27日(土)の学校運営協議会で報告させていただきます。それを受け、3月に皆様にお知らせします。

○早退に関わる対応のお願い

早退は、安全確保の観点から児童のみでの下校や、児童と保護者の待ち合わせによる下校はせず、お迎えをお願いしています。ご来校の際は職員室にお声掛けください。その後、児童の待機場所(教室・保健室・職員室等)をご案内し、教職員を介した児童の引き渡しを行います。状況により、事前連絡で保健室へのお迎えをお願いすることもあります。

○創立65周年記念クリアファイル

針ヶ谷小学校創立65周年記念事業で航空撮影をしました写真を掲載したクリアファイルが完成しました。全児童に配付をします。

冬休みの間に、浦和エンゼルスさん・針ヶ谷サッカー少年団さんの皆様が、校庭の側溝の掃除をしてくださりました。たくさん落ち葉や土を取り除いていただき、大変きれいになりました。お寒い中での作業、ありがとうございました。

校長 三村美延

はじめに。新年早々に能登半島地震がありました。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。皆様におかれましては、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今日からいよいよ3学期です。学期始めに当たり、始業式にて子どもたちには次の話をしました。

大谷翔平選手が、野球の本場アメリカでも大活躍するほど野球が上手なのはなぜか？

- ・小学生の頃、大谷選手は「野球ノート」を書いていた。
- ・「野球ノート」には、①試合や練習でうまくいったこと・いかなかったこと、②やってみて分かったこと、考えたことなどを書いていた。
- ・自分のプレーを思い返し、考えたことを言葉にしてまとめることを「振り返り」という。
- ・大谷選手は「野球ノートを使った『振り返り』」を小学校3年生から3年間ほどやっていた。
- ・小学校時代の大きな目標は「(声出し、キャッチボール、走行を)一生懸命やること」だった。何でも一生懸命やる人は、周りから応援してもらえる。

「振り返り」・・・「振り返り」は学習過程においても、とても重要です。

ー今日の授業で分かったことは何か。難しかったところは何か。友達の意見を聞いて考えたことは何か。これから、どんな勉強をしていきたいか。ー この思考を意識的に行っていくと客観的な思考ができるようになり、「ああ、問題の答えが分かった！」から「ああ、自分は問題が解けるようになったことが分かった！」に変化していきます。この思考を「メタ認知」といいます。つまり、「振り返り」の質が向上すると、メタ認知能力も上がってきます。

「メタ認知」・・・①自分や他者の状況を客観的に把握する「モニター力」と②感情や行動を調整する「コントロール力」で構成されます。コントロール力が高まると、モニターできた自分の課題を改善するために、感情的な行動を抑えたり効果的な学習方法を自分で決めたりできるようになります。

*国立教育政策研究所プロジェクト調査研究調査報告書(2013.3)

大谷選手が一試合の中でフォームを修正し、一球ごとに進化していけるのは、彼に素晴らしいコントロール力が身に付いており、それを十分に発揮させているからなのでしょう。

大谷選手はインタビューの中で、野球がうまくなるための努力の過程を「趣味みたいなもの」と言っています。(「NHKスペシャル」2023.12) 大谷選手にとって「野球がうまくなること」は、自分でコントロールした練習計画を実践し、それをまたモニターしてコントロールする、という自己実現の結果なのでしょう。だから、そのときの結果がどうあれ、取り組んだこと自体が楽しくて仕方ないのではないのでしょうか。

他にもまだまだ、大谷選手の魅力はたくさんありますが、私たち教員は子どもたちに「学ぶって面白い」「新しいことを知って楽しい」という気持ちを抱かせるような教育活動を行っていきたいものです。

本校にも、大谷選手から野球グローブが贈られます。どんな「針ヶ谷ショータイム」になるか楽しみです。

※予定の中にある「○」の中の数字は学年を表しています。あおぞらは「あ」で表します。

※SCはスクール・カウンセラー、SSWはスクール・ソーシャル・ワーカー、さわ相はさわやか相談員を表しています。

12月安全点検結果 異常ありませんでした。

1月の生活目標

【よいことばをつかおう】